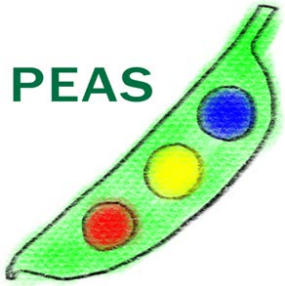
相互評価支援システム（PEAS) による授業実践について



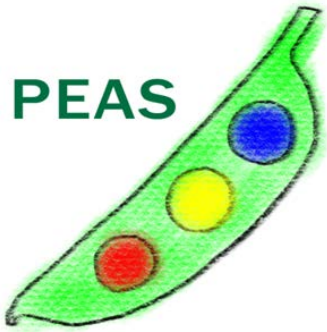
2018年3月9日

法政大学デザイン工学部
豊島　純子

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

本日の概要

1. デザイン工学部SD学科「プレゼンテーション技術」
2. デザイン工学系大学院「テクニカル・ライティング」
3. 成蹊大学教養カリキュラム「カレッジ・イングリッシュ」
4. まとめ

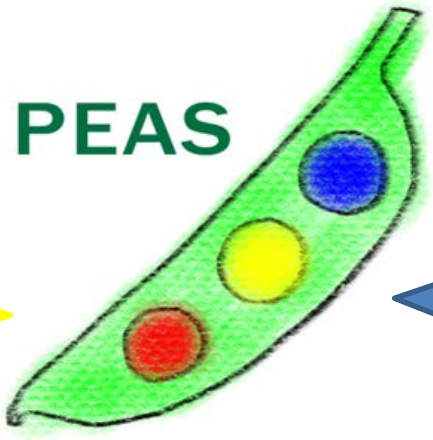


Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

*P*eer *E*valuation *A*ssistance *S*ystem (PEAS)

- *PEASを使えば…*

授業運営が
円滑になり



フィードバック
が
即座に得られる

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

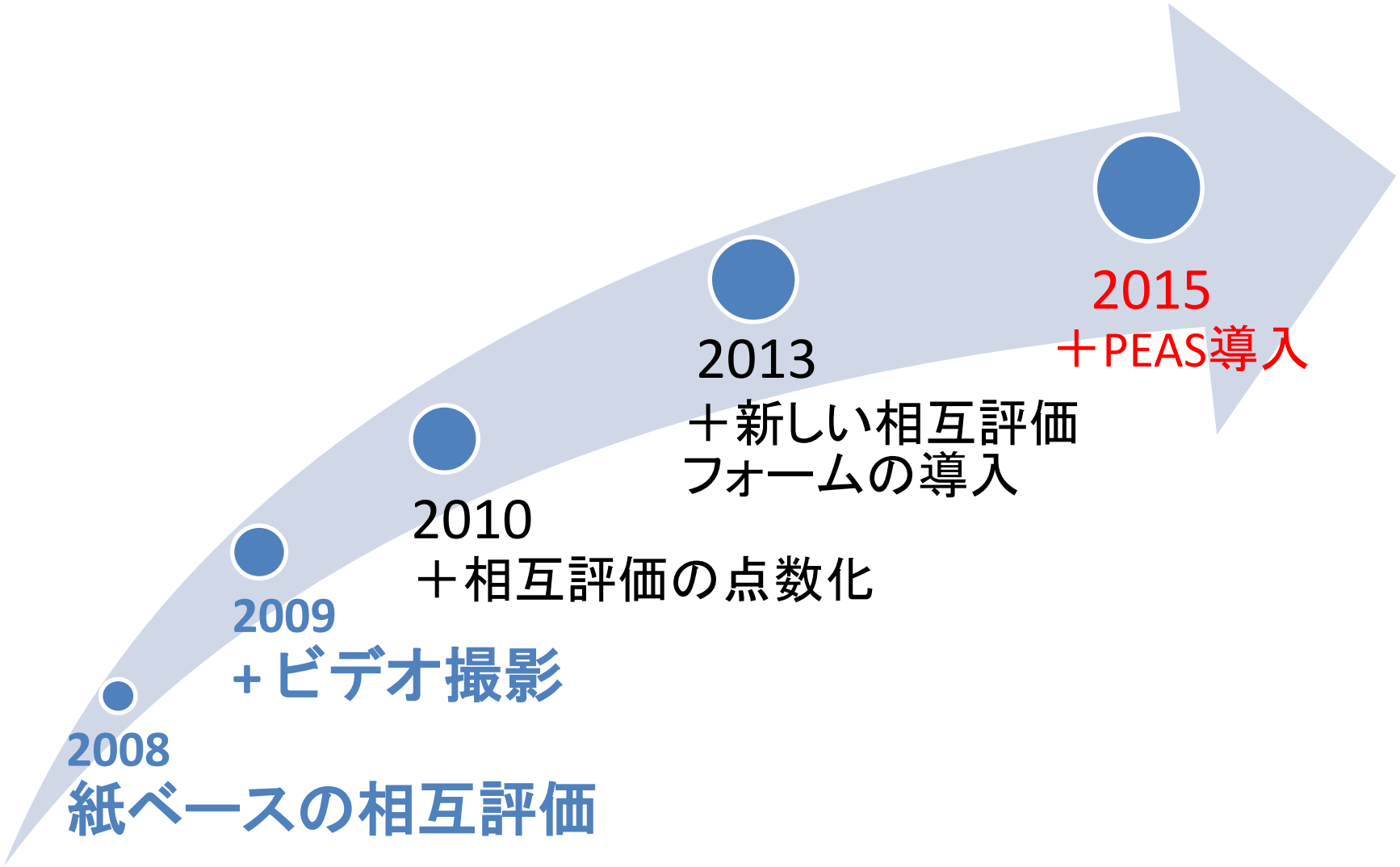
1.「プレゼンテーション技術」の概要

(Sept. 2008 to date)

コース目標	**“Audience First” の重要性を理解し、聴衆に受容され共感されるようなプレゼンテーションをできるようになること**
到達目標	コース終了時にはきちんと構成されたストーリーを、印象的なビジュアルを示しながら、ボディーランゲージを上手にとりいれてプレゼンテーションできるようになること
コース概要	・デザイン工学部SD学科2年生 ・32 students x 2 classes ・CD期(15 回) ・講義と3 回のプレゼンテーション ・相互評価とビデオ撮影⇒省察

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

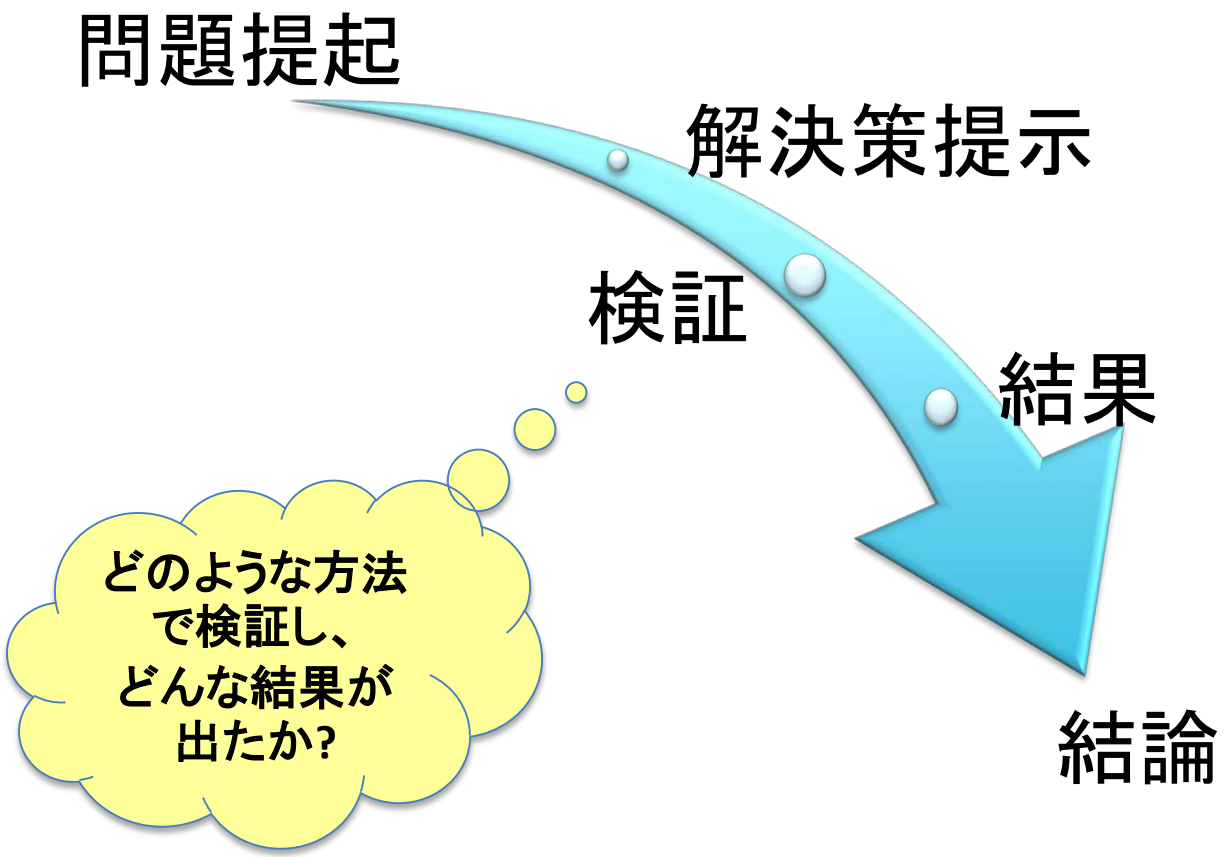
1.「プレゼンテーション技術」の歩み



Copyright © 2018 Toyoshima All Rights Reserved.

1.問題解決型プレゼンテーションの流れ

(制限時間4分)



Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

第二回日本語（問題解決型）プレゼンテーション相互評価表（記入者　　）

発表者：	テーマ：			
	十分できていた ☆☆☆	ある程度できていた ☆☆	できていなかった ☆	
1. 何が問題なのか十分に説明した	3	2	1	Story Message
2. 解決法を具体的かつ十分に説明した	3	2	1	
3. 解決法により期待される効果をデータで検証し十分に説明した（実験方法と結果を明示したか？）	3	2	1	
4. 上記三点からその解決法が合理的と結論づけられることを十分に説明した。	3	2	1	/12 点
5. 画像グラフを大変効果的に十分に活用していた。	3	2	1	Visual Message /3 点
6. 話すスピードと声の大きさが大変適切だった	3	2	1	Physical Message
7. 聴衆と十分にアイコンタクトをしていた	3	2	1	
8. 立ち位置を工夫し、安定した姿勢で大変堂々と話していた	3	2	1	/12 点
9. 表情豊かでジェスチャーも十分取り入れていた	3	2	1	
10.聴衆と十分にインタラクションをしていた	3	2	1	Interaction /3 点
11. 4 分の制限時間を十分に活用し時間内に発表を終了した	3	2	1	Time limit /3 点
総合評価			/33	

◎発表者のプレゼンテーションで今後の参考になり、良かった点について書いてください。

◎発表者のプレゼンテーションでこうしたらより良くなると思われる点を書いてください。

＜平均点＞

Story Message	Visual Message	Physical Message	Interaction	Time limit	Total

Story Message (1～4)

Visual Message (5)

Physical Message(6～10）
（声、アイコンタクト、姿勢、ジェスチャー）
インタラクション

Copyright © 2017 Toyoshima

1.プレゼンの映像とPEAS画面

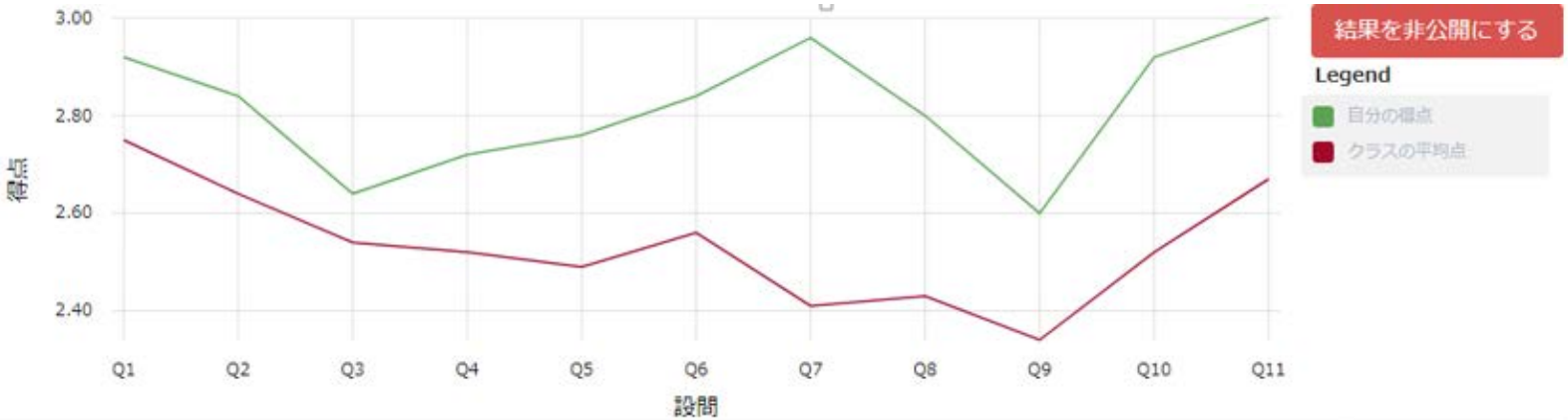
1. OA Tube

https://oatube.media.hosei.ac.jp/

2. PEAS

- 法政大学授業支援システム→PEAS

https://hcms.hosei.ac.jp/portal

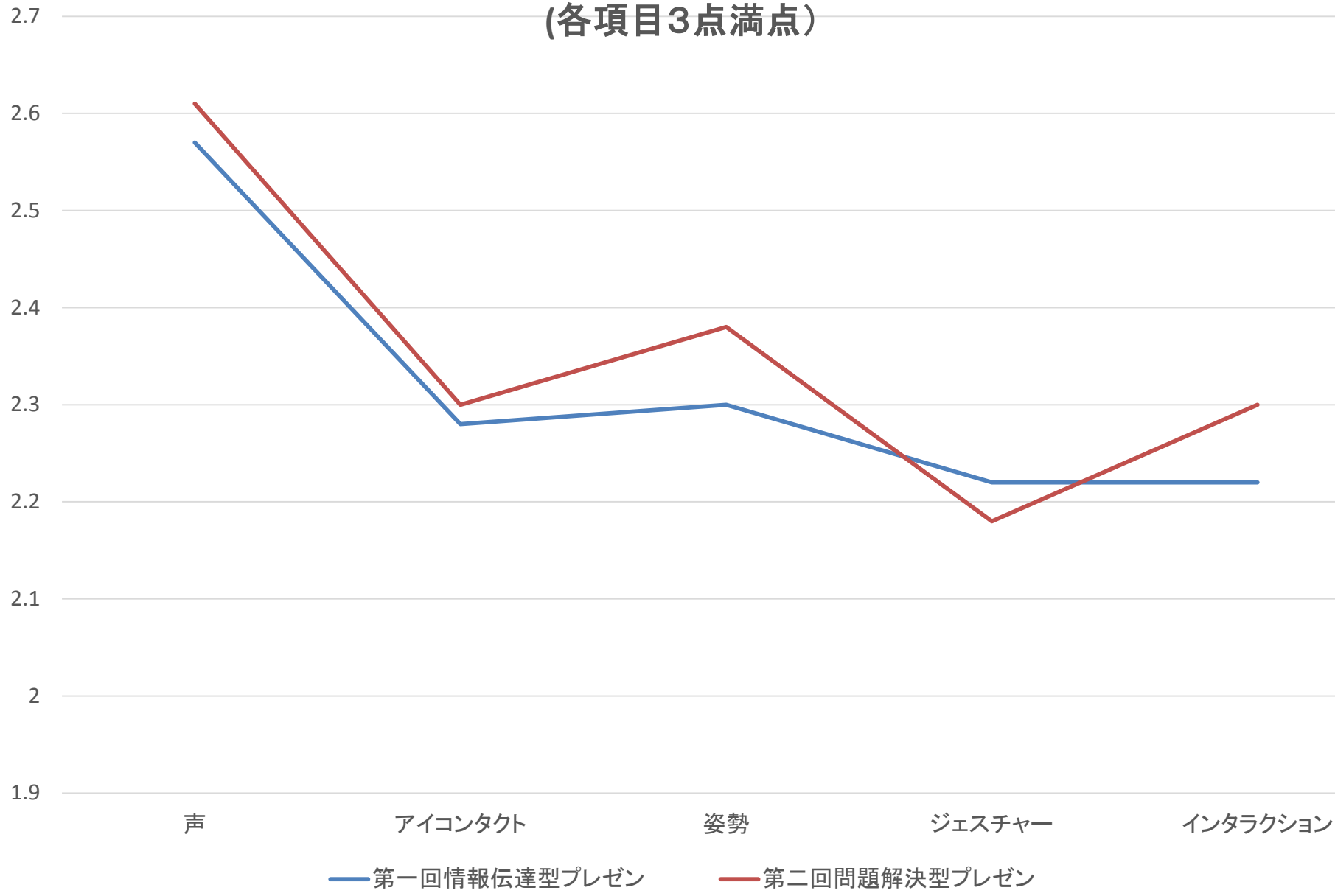


問題	評価の平均点
Q1. 何が問題なのか十分に説明した。	2.92 / 3
Q2. 解決法を具体的かつ十分に説明した。	2.84 / 3
Q3. 解決法により期待される効果をデータで検証し十分説明した（実験方法と結果を明示したか？）。	2.64 / 3
Q4. 上記三点からその解決法が合理的と結論づけられることを十分説明した。	2.72 / 3
Q5. 画像、グラフを大変効果的に十分に活用していた。	2.76 / 3
Q6. 話すスピードと声の大きさが大変適切だった。	2.84 / 3
Q7. アイコンタクトを十分に意識して行っていた。	2.96 / 3
Q8. 立ち位置を工夫し、安定した姿勢で大変堂々と話していた。	2.8 / 3
Q9. 表情豊かにジェスチャーを十分に取り入れて発表していた。	2.6 / 3
Q10. 聴衆とインタラクションを十分にしていた。	2.92 / 3
Q11. 4分の制限時間を十分に活用し時間内に発表を終了した。	3 / 3

Q12. 発表者のプレゼンテーションで参考になったり、良かった点について述べてください。 22

- 非表示にする 「片手で出すことができる」という発想がcreativeですし、実際に製作物を持参したところがよかったです。また、落ち着いた話し方で安心して聴いていることができました。今後の研究課題を述べていたところもよかったですね。 教員 豊島 純子

フィジカルメッセージ　Xクラス相互評価平均点の比較
(各項目３点満点）



第一回情報伝達プレゼン(n=28)/ 第二回問題解決プレゼン(n=34)

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

2.「テクニカル・ライティング」の概要

開講期間	2010年4月～
授業対象	法政大学大学院デザイン工学研究科システムデザイン専攻（主にM1生） 選択科目
授業規模	ークラス7名
授業期間	春学期（A・B期） 4月～7月 （講義,英文講読、ライティング実習、グループワーク、プレゼンテーション等全１５回）
到達目標	STEMに必要な英語の実用的ライティング力を身につける。 Emailを含むビジネス文書, CV, PPTスライドの書き方を練習し、アカデミック・ライティングの概要を学習する。 最終的には自分の英語アブストラクトを書けるようになること。

2. Journal Review (6/13, 6/20, 2017)

アブストラクト執筆の事前学習に英文ジャーナルのレビューを行う

- 研究テーマに近い英語論文を読解し、分析批評する。
- 発表時間（質疑応答含め10分程度）
- 一回目のプレゼンの相互評価結果を参考にRevised Journal Reviewを再演する。

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

2. Journal Review 評価項目

1. タイトル、著者、ジャーナル名を明示する。
2. 対象とする読者は誰か？
3. 論文の目的および意義は？
4. どのような問題提起がされているか?（何を研究したか）
5. どのような実験方法、材料が使われているか？
6. 上記実験・研究によりどのような結果が判明したか？
7. 著者が結果から導いた結論は何か？
8. 著者が結果に基づいて導いた結論は妥当か？
9. 論文の貢献度（独創性、新奇性）は？　← 評価する

Swales, J.M. & Feak,C.B.2004. *Academic Writing for Graduates Students-Essential Tasks and Skills 2nd Edition*. Ann Arbor: The University of Michigan Press

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

Q1. 著者、タイトル、ジャーナル名すべてに言及した

☆ ☆ 未選択

Q2. 対象となる読者層を明示した

☆ ☆ 未選択

Q3. 論文の意義と目的について十分に説明した

☆ ☆ ☆ 未選択

Q4. 問題提起に関して十分説明した

☆ ☆ ☆ 未選択

Q5. 実験方法について十分説明した

☆ ☆ ☆ 未選択

Q6. 結果を明確に述べていた

☆ ☆ ☆ 未選択

Q7. 結果から導かれる結論を十分に説明した

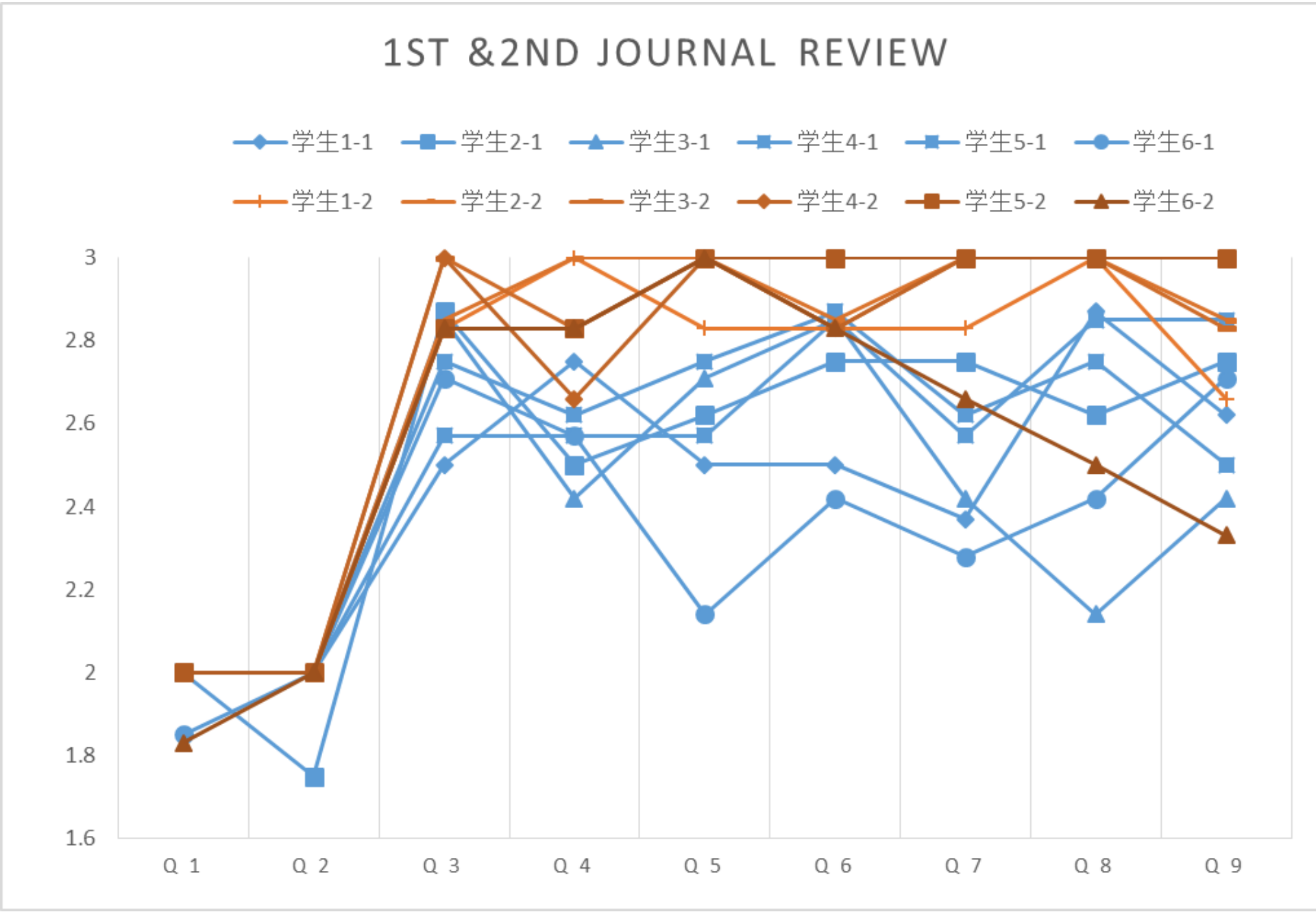
☆ ☆ ☆ 未選択

Q8. 発表者の論文評価は妥当で説得力があった

☆ ☆ ☆ 未選択

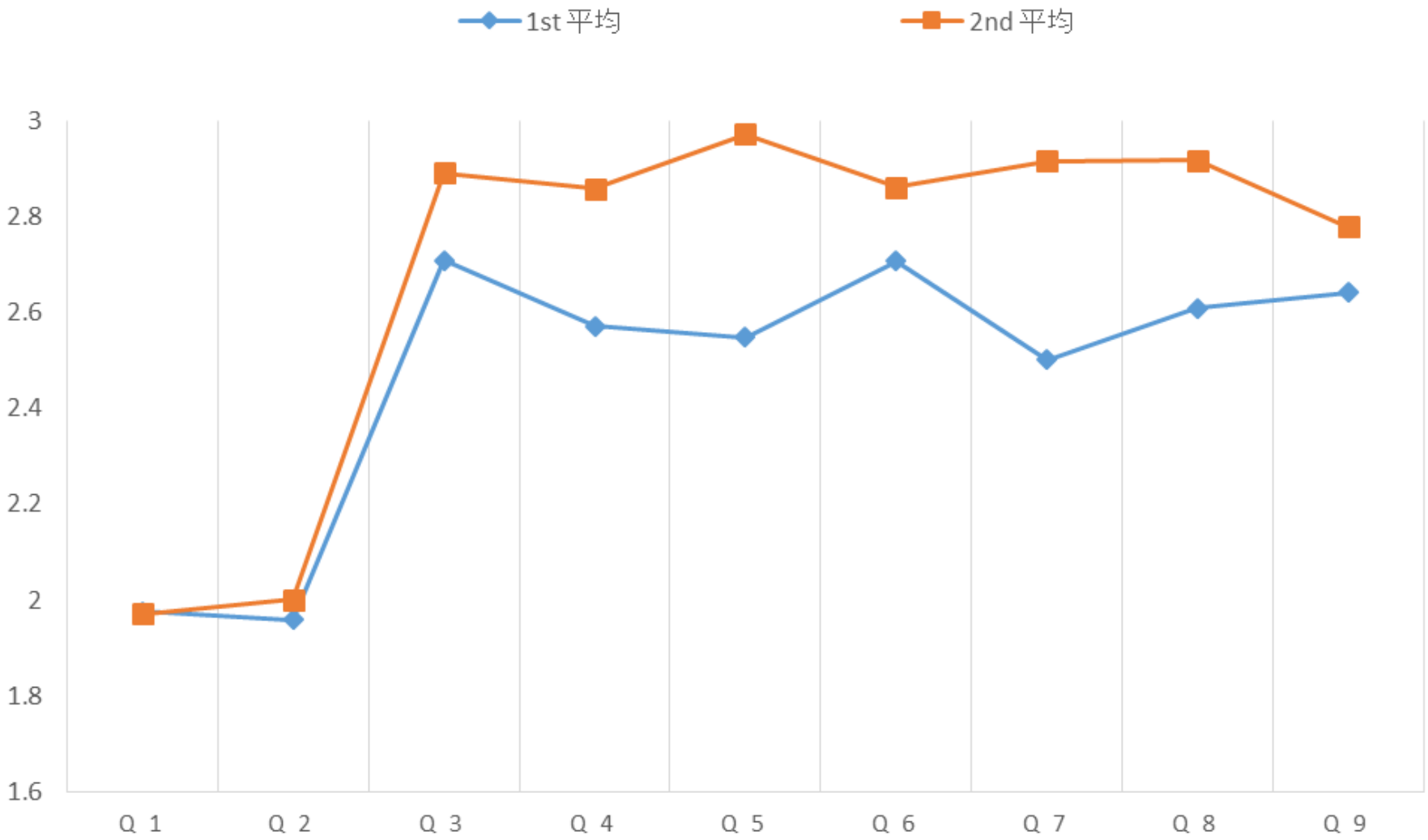
Q9. 本論文の当該分野への貢献度についての評価は妥当で説得力があった

☆ ☆ ☆ 未選択



Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

1ST &2ND JOURNAL REVIEW（AVERAGE）



PEASによりロジカルおよびクリティカル・シンキングの向上を確認

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

3.「カレッジ・イングリッシュ」の概要

授業対象	成蹊大学文学部英米文学学科一年生の必修科目 （男子7名、女子17名）
授業規模	ークラス24名
授業期間	春学期　4月～7月と秋学期　10月～1月 （講義,英文講読、ライティング実習、グループワーク、プレゼンテーション、テスト等　各学期全１５回）
到達目標	• 英文パラグラフ構造を理解できる • 長い英文を臆せずに読むことができる • 未知語があっても英文の大意を理解できる • 自分の意見や感想を英語（150～250語)で書くことができる • 読んだ内容を英語または日本語で要約できる
最終課題 (1/10,1/17実施）	英文学の名作を紹介し評価する“Book Review Group Presentation” ６グループ（各グループ４名）に分かれ、英文学作品を紹介し評価する。 発表時間は12分以内。PPT作成し全員が発表することが条件。

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

3. Assigned Books

G1. Romeo and Juliet (by William Shakespeare)

G2. The Phantom of the Opera (by Gaston Leroux)

G3. A Christmas Carol (by Charles Dickens)

G4 The Old Man and the Sea (by E. Hemingway)

G5. The Great Gatsby (by F. Scott Fitzgerald)

G6. Forrest Gump (by Winston Groom)

発表日	1/10 G1, 2, 5, 6
	1/17 G3, 4

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

3. Book Review presentation (1/10, 1/17)

General information on the book	**Title, author, publisher** **(Please include information on the author and historical background of the book.)**
Characters	Who is in the story? Describe what they are like (personality, appearance).
Settings	Where and when does the story take place? (Include explanation of the location.)
Plot	How does the story start? What happens in the middle? How does it end? **What is the author's message?**
Critique (Your opinion)	What was your favorite part? Do you recommend this story?

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

Evaluation Criteria for the Group Presentation

		大変よくできていた 3	できていた 2	できていなかった1
1	Well-organized presentation with logical sequence and excellent transitions. きちんと構成された論理的なプレゼンで発表者間のつなぎもスムーズであった	☆☆☆	☆☆	☆
2	Accurate and very useful information on the subject. 正確で非常に有益な情報を伝えていた	☆☆☆	☆☆	☆
3	Speaks clearly, very easy to follow. 明瞭な話し方で非常に理解しやすい	☆☆☆	☆☆	☆
4	Didn't read the paper, Great eye contact 原稿を読まずにアイコンタクトを十分意識していた	☆☆☆	☆☆	☆
5	Great time management, well-rehearsed 十分にリハーサルして時間を上手に使っていた	☆☆☆	☆☆	☆
6	Great visual quality and its use 質の高いスライドを上手に使っていた	☆☆☆	☆☆	☆
7	Great participation in group presentation グループププレゼンテーションに大変よく貢献していた	☆☆☆	☆☆	☆
8	Overall assessment of the group presentation グループププレゼンテーションの総合評価	☆☆☆	☆☆	☆

	Your comment
9. My comment on Speaker1's performance	
10. My comment on Speaker2's performance	
11. My comment on Speaker3's performance	
12. My comment on Speaker4's performance	
13. What I liked about the group presentation was… グループプレゼンのここが良かった	
14. One area for improvement was… グループプレゼンのここを良くすればさらに良くなる	

PEASの導入でグループ・プレゼンの評価が可能になり、しかも各メンバーの個人評価が可能になった（9～12）

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

Book Review Presentation Seikei 発表者: 成蹊 一郎

Please rate ☆☆☆ for "Excellent",☆☆ for "Good" and ☆ for "Fair."

Q1. The group presentaion was well-organized with logical sequence and excellent transition.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q2. The speakers' information was accurate and very useful.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q3. The speakers spoke very clearly and were easy to follow.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q4. The speakers did'nt read the paper and maintained great eye contact with the audience.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q5. The speakers were well-rehearsed and used their presentation time efficiently.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q6. The speakers showed great PPT slides and used them effectively.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q7. The speakers participated very well in the group presentation.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q8. Overall assessment of the group presentation.

☆ ☆ ☆ 未選択

Q9. Write your comment on Speaker 1's performance.

Q10. Write your comment on Speaker 2's performance.

Q11. Write your comment on Speaker 3's performance.

Q12. Write your comment on Speaker 4's performance.

Q13. What I liked about the presentation was...

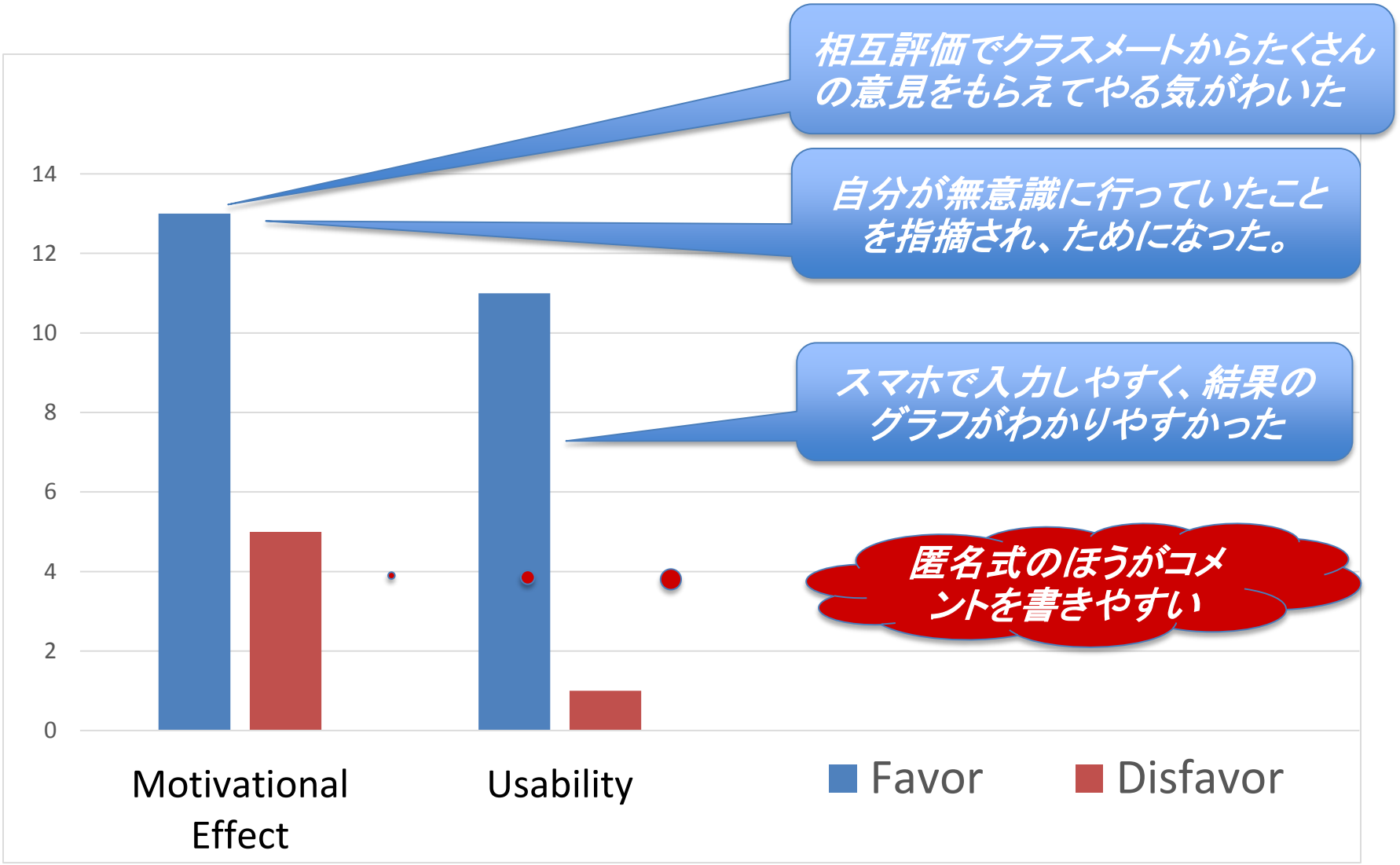
Q14. One area for improvement was...

投稿する すべての項目で必ず1以上にチェックしてください。（未入力のものがある場合は提出できません。）

法政大学 情報メディア教育研究センター

3. PEASに対する学生の反応

(n=24、複数回答)



Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

4. まとめ

<授業実践の考察＞

1. PEASはフィジカル・メッセージの上達に寄与
   →「プレゼンテーション技術」の事例

2. PEASはロジカル・シンキングの向上に寄与
   →「テクニカル・ライティング」のJournal Reviewの事例

3. PEASはグループ・プレゼンの相互評価にも活用できる→成蹊大学カレッジイングリッシュのブックレビュー・プレゼンの事例

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

相互評価をスピーディかつタイムリーに実施でき
授業がよりインタラクティブになる。

↓

教員の授業のレパートリーが広がる

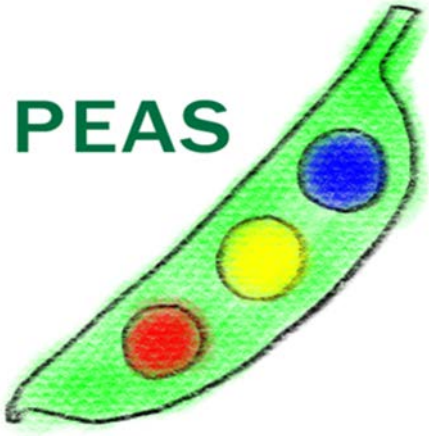
↓

学生のモチベーションが高まり
アクティブ・ラーニングが促進される

Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved

ご清聴ありがとうございました

Thank you for your kind attention!!



Copyright ©2018 Toyoshima All Right Reserved